

「カブトムシの幼虫」

白くて大きいカブトムシの幼虫を前に、5歳児の子どもたちは大喜びです。

わあ！

くくのお家からカブトムシの幼虫をいただきました。

でかい。

重いとる。

ペットボトルの飼育ケースに、幼虫を一匹ずつ入れてあげると、大層そうに見つめる子どもたち。

あっ、もぐっていったよ。

ぼくのも！見えんかになつた。

かわいい！

自分の好きな名前をつけて、幼虫の世話をすることがうれしくて、みんな大張り切りです。

〇ちゃんはどこにいるかな？

はしっこで寝てるよ。

ジュ、ジュしよう。

ほら見て。幼虫はもうすぐ“さなぎ”になるんやせ。

うん、早くならんかなあ…。

毎日、自分の幼虫を観察したり、世話をしながら成長を楽しみにしている子どもたちの姿がありました。

「みんなでおめでとう！」

先生！カブトムシ、出た！

えっ?! 本当？

うん！テーブルの上におったよ。早く来て！

登録したばかりの5歳の子どもたちが飼育ケースから出たカブトムシを見つけました。

2匹のカブトムシが、朝日を受けて、ピカピカと光輝いていました。

カブトムシになった！

すごいね！

かっこいい！

さ、さ、さ、みんなで飼育ケースの中を確認することにしました。次々に姿を表すカブトムシに大歓声が上がりました。

わあ！

おめでとう!!

幼虫の時(5月)から見守り続けてきたカブトムシは、7月中旬に、立派な成虫になりました。子どもたちの互いに喜び合う姿から大きな感動が伝わってきました。

良かったね。

うん！